



発行/八潮市議会議員・やざわえみこ(市民と市政をつなぐ会)

やざわえみこ通信

Vol.70

〒340-0823 八潮市古新田923 TEL (FAX共通) 048-997-9632

E-mail: e-yazawa@smile.ocn.ne.jp http://www.e-yazawa-web.net/

市民派  無所属

報告

第3回 定例会

9/1~9/21

市長から提案された 32 議案はすべて原案の通り可決されました。

★9月議会に提案された主な議案

- ・27年度八潮市一般会計と9つの特別会計の歳入・歳出決算の認定
- ・27年度八潮市上水道事業決算の認定
- ・28年度一般会計、9つの特別会計の補正予算
- ・こども医療費支給に関する条例の一部改正
- ・八潮市税条例の一部改正する条例
- ・八潮市都市計画税条例の一部改正する条例
- ・市道路線の廃止と認定
- ・公平委員会委員3名の選任・議会選出の監査委員等の人事案件

平成27年度一般会計歳入歳出の決算の認定と、平成28年度一般会計補正予算について反対しました。決算に関しては、マイナンバー制度に反対の立場から、その予算や決算に対しても認定できないこと。

補正予算については、マイナンバー関連に加え、10月からは始まるB型肝炎ワクチンの定期化に伴う費用が計上されていますが、現段階でのワクチンの接種の定期化そのものへの疑問、副反応への懸念などから反対しました。

★9月議会では、次の3件の意見書を提案しましたが、自民クラブ、公明党、民政クラブの反対ですべて否決に！

・8,000Bq/kg 以下除去土壌の再生利用方針の再検討を求める意見書

環境省は、福島県内の除染に伴い発生した土壌や廃棄物等は最大 2,200 万m³と推計し、2016年6月「中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利

用技術開発戦略検討会」の「減容処理後の浄化物の安全な再生利用に係る基本的考え方骨子」で、①県外最終処分に向けて除染土壌をできるだけ減らす、②土壌を資源として使用する、として、8,000Bq/kg 除染土壌を、全国の公共事業(道路、海岸防災林、防潮堤、土堰堤、土地造成等)に使うとしています。しかし、この8,000Bq/kg 以下という基準は、放射性物質汚染対処特措法に基づく基準であり、原子炉等規制法の100Bq/kg 以下のクリアランスレベルの80倍です。再生利用土壌に覆土して遮蔽すれば問題ないとしています。道路の陥没や崩壊などが起きれば汚染土がむき出しになり、環境中へ流出する懸念があります。海岸防災林や防潮堤で利用されれば、津波や台風などの自然災害等で破壊され、内陸や海へ流出する危険性も生じます。再生利用の基準が8,000Bq/kg に設定されれば、一般社会で使用されることにもなりかねないことから、見直しをしてほしいと提案しました。ちなみに、嵐山町議会、小金井市議会では全会派賛成で可決。

・政治分野への男女共同参画推進法の制定を求める意見書

日本の国会議員に占める女性比率は193カ国中、157位と最低レベル。国連では2020年までに50%の女性比率を目指す中、日本も女性議員を増やすための方策が求められている。安倍政権は女性活躍を提唱し『女性活躍法』を制定していますが、政治分野が抜けています。意思決定の場に女性が増えれば、政策課題の優先順序が変わります。八王子市議会、小金井市議会、文京区議会、三鷹市議会、郡山市議会で可決。

・地方議会議員選挙におけるマニフェスト解禁を求める意見書

政策本位の選挙を実施するために、地方議員も選挙期間中に政策を掲載したチラシが配れるように、公選法を改正する、という内容なのに、反対する理由が不明です。他市の議員から笑われそうです。

★半年前には大地震、そして今度は阿蘇山の噴火と、熊本を襲った自然災害に心が痛みます。一日も早く平和な日々が戻ることを祈っています。

☆全会派一致で8000Bq見直しの意見書を可決した嵐山町議会では、若い子育て中の男性議員たちが提出に向けて頑張ったそうです。



一般質問では以下3点を取り上げました。

- ① 市の施策の整合性
- ② 性同一性障がいの方の保険証の性別表記
- ③ 学校施設や保育所の放射能汚染残土の保管

①については、現在、市は「楽しく学ぶ」をイメージテーマに八潮市シティセールスを策定中です。また「協働のまちづくり啓発リーフレット」を約4万円の予算で10月末に完成する予定です。

協働を基本とする「自治基本条例」施行から5年も経過しているのに、「市民が『協働』についてよく理解していない」とは・・・5年間、市は何をしていたのでしょうか。今、必要なのは、市民参加条例制定ではないでしょうか？

地域の歴史や遺産についても、当然学びの対象となり、3年後には、八潮の礎を築いた旧潮止村の名村長田中四一郎氏の生誕150年の企画展も計画中和聞く。田中四一郎氏と旧潮止揚水機場は切り離せない。しかし、この間の市の旧潮止揚水機場建屋の撤去方針や、市民との協働を推進する部署が、協働のモデルともなり得る市民提案に反対するなど、市の施策に整合性が全く見られないこと、将来のまちづくりに不安を感じ、質問しました。

しかし、市は一貫して「整合性はとれている」を繰り返すのみで、かみ合わない答弁でした。

朗報！ 性同一性障がいの方々へ

保険証の性別表記は、本人から申し出があれば、裏面に性別を表記するなどして、工夫をしてくれます。希望する方は申し出を！！

実は、平成24年9月21日に厚労省から、「当事者からの申し出があれば、保険者の判断で、表記方法を工夫できる」との事務連絡があったのです。すでに、八王子市、横浜市、町田市、札幌市、県内では所沢市等の多くの先進自治体では、HP等で周知していました。周知していなかった八潮市では、当然のことながら申し出はゼロ。今後は、周知に努めるよう提言しました。なお、保険証だけでなく、高齢受給者証、限度額認定証、限度額適用・標準負担額減額認定証等についても、更に介護保険証等の関連書類についても同様です。

③については、3.11から5年経過し、学校内や保育所に除染残土が埋められているという情報が共有されていない。仮置き場として埋められたにもかかわらず、未だにそのまま残っている。私は、該当する施設をすべて視察したが、埋められた場所を特定し、困っていたのはたった1校だけでした。

再度、周知を図るとともに、早急に、「国に対して保管場所を確保するように要望すべき」と進言しました。

10月からB型肝炎ワクチンの予防接種が定期化されましたが接種は慎重に！！



予防接種は定期化されても必ず受けなければならないものではありません。予防接種には副作用が少なからず発生します。

ワクチンは2種（ビームゲンとヘプタバックスII）。いずれも遺伝子組み換え酵母由来のワクチンなので、酵母アレルギーの赤ちゃんは打てません。また、ヘプタバックスIIは、ラテックスアレルギーの方は打てません。添加物に水酸化アルミニウム（アルミ化合物）やチメロサル（有機水銀）が入っているダブル重金属のワクチンです。これをゼロ歳児に3回接種することになりますが、チメロサルは2009年にアメリカでは自閉症の原因物質とされています。更に劇薬指定のホルマリンも入っています。そもそも、子供がB型肝炎になる可能性は高くない。性行為感染する頃にはワクチンの効果はないし、臓器移植の確率は低すぎる上、輸血を受ける可能性もあまりない。フランスでは、B型肝炎ワクチン接種後に見られる神経障害及び自己免疫反応による障害が理由で1998年10月に義務接種プログラムから姿を消しています。

薬害オンブズパーソン会議も「現段階での定期接種化は必要ない」との意見書を今年5月に国に提出しています。

9月議会で、公明党から「同一価値労働同一賃金の実現を求める意見書」が提案されました。しかし、この意見書は、国際基準となっているILO基準の職務評価による同一価値労働同一賃金には全く触れておらず、これでは正社員と非正規との間の賃金格差是正は実現できない。

そればかりか、運用によっては逆に正社員の賃金を、非正規レベルまで引き下げることが、理論的に可能になる恐れがあるため、討論して反対。ちなみに経団連も同一価値労働同一賃金を主張していますが、本来の同一価値労働同一賃金とは、もって非なる内容。**タイトルだけでなく中味が問題です。**



稲田防衛大臣の発言の矛盾が批判されています。追及に対して「あれは野党時代の発言」と居直ったそうですが、自己矛盾を感じないのか不思議です。与野党関係なく、自らの発言に責任を持つのは当然です。八潮市議会でも過去の発言と180度異なる方がいますが、

来々年4月から、15歳までの子ども医療費の窓口負担がなくなります。私のところにも多くの方からメールや相談が寄せられていました。改正の条例案は全会派一致で可決。ただ、市外の医療機関受診の場合は、一旦立替えて、後日支払われます。

3年後、田中四一郎氏生誕150周年！
八潮の宝である旧潮止揚水機場建屋、
市は撤去方針を表明していますが・・・



本当に壊してしまってもいいの？

★市民との協働を進めるためには、行政は市民と対等になるために、市民と同じ目線まで下りてこなければ、真の協働は実現できない。



2445名の「残して！」の声は無視？

旧潮止揚水機場の建屋について、市の方針が「広報やしお10月号」に掲載されました。

この建屋を巡っては、市民団体「旧潮止揚水機場の保存と活用を考える会」から残してほしいとの要望が2,445名の賛同署名とともに提出されていました。

8月4日に、同市民団体から「旧潮止揚水機場及び昭和水路(15号水路)に関する提案説明会が資料館で行われました。この提案は、事前に関係諸課にも相談しながらまとめたものでしたが、8月23日には、「多くの来場者が見込める公開活用策でない」、「将来にわたる持続可能な施設の運営・管理体制の構築や、修復・維持管理にかかる資金調達の考え方について懸念がある」として、当初の予定通り「建屋を撤去し、施設の果たした役割や功績を伝えていくためのメモリアルパーク等を整備する」と回答しています。

しかし、この回答を読むと、市は当初からの撤去の方針を一切変えず、市民団体の提案には全く耳を傾けようともしない対応であることが良くわかります。

市の歴史的建造物に対する理解が欠如

市は、スタート時点から、歴史的な資産に対する理解が極端に欠如しており、よりよき環境を次世代へ引き継ぐ責任という視点が全く抜けています。

最近、中国の万里の長城の崩れかけた石積の上をコンクリートで平たんに埋め立てた為、修復後は明時代の磚(せん=煉瓦)は白いコンクリート状の層の下に隠れ、美観も風情も台無しになって、世界中から批判を浴びるといことがありました。

例えば、建屋の公開活用にあたってバリアフリーでなければとの指摘がありましたが、八潮市の考え方からすると、法隆寺金堂にエレベーターかスロープを設置すべき、桂離宮の園路をカート道に改

修せよとの発想です。

歴史的な建物は、その特性をそのままに、体験できることが第一なのです。小規模な施設でも、その果たした役割は大きかった。狭い部屋に寝泊まりし、苦勞して管理した人がいた。これを歴史として実感することが大切なのです。

管理・運営の問題についても、こういった施設の保存については、経済的合理性になじまないから税金を投入して残すのです。どんな歴史的・文化遺産を残すか、八潮市の文化度が問われているのです。

傍聴席

八潮の皆さん、私は来年米寿を迎える築88年の「揚水機場」です。

昭和の初め、潮止村の名村長・田中四一郎さんが二丁目に作ってくれました。14年前にその大切な役目を終えましたが、村人・町民・市民から大事に見守られひっそりと静かに八潮を見つめながら過ごして来ました！

近年、私は各界の研究者から驚きの声と共に貴重な文化遺産・史跡であると認められたのです。

すぐ近くに新堤防も出来てウォーキングをしている人も沢山いますが、なかなか私に気づいてくれませんでした。よく今日まで生き延びて来られたものです。それはたぶん八潮が優しくて余裕のある人のまちだったからでしょう。

ところが、今年その私を市では撤去しようとしているのです。その理由も明確でないまま、取り壊し工事をすぐにでも進めようとしています。

そこで、この方針を一旦停止させ、市民と協働で維持管理し、後世に残して行こうという運動が巻き起こりました。

お願いですから八潮の、いや県、国の宝物・文化遺産を壊さないでください。
皆さんお願いします!!

内海 孝幸

沢山の署名をありがとうございます。こんなに多くの方が、建屋の存続を望んでいることに感激です。これは八潮の大切な宝です。一町会や関係団体の意見だけで処理しようとすることが問題です。

★市政に対するご意見や相談等がありましたら、いつでもお寄せ下さい。メール、電話、ファックス等でも結構です。また、通信を多くの方にお読みいただきたいので、ポスティング等にご協力いただけます。何部でも結構です。

えみこの活動日記(8月~10月)一部予定も

8月

- 1 旧潮止揚水機場建屋内部視察
- 2~3「マニフェスト・サミット2016『政策で勝負する議会へII』、築地市場視察
- 4 旧潮止揚水機場活用市民案の提案説明会
- 5 高校生と議員の懇談会傍聴
- 6 水の日記念 シンポジウム「東京・首都圏の水を考える」
- 7 消防団夏季訓練、映画「ずっといっしょ」鑑賞、朗読劇「平和を考える」鑑賞
- 12 LGBT 学習会(朝霞産業文化センター)
- 16 9月議会議案説明会、非暴力トレーニング
- 19~20 全国政策研究会(一橋大学)
- 23 放射能汚染残土勉強会(横須賀市)
- 25 議会運営委員会傍聴
- 26~27 国立女性会館「男女共同参画推進フォーラム」
- 30 職員研修「性の多様性」、旧潮止揚水機場の建屋取り壊しに抗議する集会

9月

- 1~21 9月議会
- 7 「森のこかげ」視察
- 18 東古新田長寿を祝う会
- 19 NPO 法人設立総会出席
- 22 「むかしMattoの町があった」上映4周年記念イベント
- 24~25 全国市民オンブズマン香川大会
- 27 院内勉強会「選挙制度について」
- 28 社会福祉協議会協力委員会
- 29 野田聖子衆議院議員訪問
- 30 県議会傍聴

10月

- 3~5「リーサス等を活用した地域産業支援」研修
- 6 浦野靖人衆議院議員訪問
- 7 緊急院内集会「今国会で推進法の制定を！」
- 10 地域ふれあいスポーツ大会
- 12 衆参議員会館ロビー活動
- 17 「議会における女性活躍及びメディアにおける男女共同参画について聞く会」、ロビー活動
- 20~21「第17回介護保険推進全国サミット」
- 22 緊急集会「県内最古のポンプ場を壊さないで！」
- 23 市民まつり
- 24 フェミ議連世話人会
- 25 議会報編集委員会、東南部5市1町研修
- 28~29 日本女性会議秋田大会
- 30 地名を考えるシンポジウム

編集後記

「えみこ通信」も70号となりました。紙面の関係で、難しい点もありますが、これからもできるだけ多くの情報を伝えていきたいと思っています。今年も、富山市議会他、多くの議会での政務活動費の不正請求が問題になり、これを機に、ホームページでの公開に踏み切る議案が増えています。八潮市議会でも今年から年額20万円になるのを機に、公開すべきと主張してきましたが、自民クラブ、公明党、民政クラブの反対で実現されていません。政務活動費は公金ですから、公開は当然なのです。



クォータ制を推進する会(通称Qの会 代表赤松良子元文部大臣)のメンバーと一緒に国会議員へのロビー活動を行っています。Qの会は、WIN WINの赤松良子代表からの呼びかけにより約1年の準備期間を経て、2012年6月に発足。目的は、女性議員を増やすための制度面の条件整備の推進です。

WIN WIN 以下全国組織の9女性団体が役員団体を構成し(やざわは、全国フェミニスト議員連盟)、全国各地の女性団体・草の根グループに対して賛同加入を求め(現在、役員団体を含む賛同団体56団体)、クォータ制の法制化をめざす女性市民運動を展開しています。発足以来、国会内に超党派『議員連盟』の結成を促し、『政治分野における男女共同参画推進法』の制定等の働きかけを続けています。10月7日の緊急院内集会で、野田聖子議連幹事長は、臨時国会中に『与党案を提出する』と力強く約束。公明党高木美智代議連副会長は、「政党は選挙において男女の候補者をできる限り均等とすることをめざす」という文言に修正し、更に「国や地方公共団体の責務に『人材育成』の条文を追加し、成立をめざす」との発言。本邦初の法案成立の期待が高まっています。

平成28年度第4回定例会は、11月30日に開会予定です。お時間のある方はぜひ傍聴においで下さい。

10月3日~5日まで、滋賀県の全国市町村研修所の「地域経済分析システム(リーサス)等を活用した地域産業支援」研修に参加。リーサスを使えば、KKO(勘、経験、思いこみ)による政策立案から、Evidence-Based Policy Making(データに基づく政策立案)が可能になります。とても有意義な研修でした。